



三種町

議会だより

平成28年
11月1日発行
第43号



「収穫の秋をまるかじり」

(横長根 わにさん農園にて)

発行：三種町議会

編集：議会広報編集特別委員会

〒018-2401 秋田県山本郡三種町鶴川字岩谷子8番地

TEL(0185)85-4831 FAX(0185)85-2178

URL <http://www.town.mitane.akita.jp/>

も く じ

- 一般会計・各会計決算を認定 … 2～5
- 補正予算の内容、議案審議
議案一覧、議案採決結果 … 6～7
- 一般質問(4人が登壇) …… 8～11
- 臨時会、研修会報告 …………… 12
- 子ども議員が町政を質す！ …… 13
- 町民と議会との懇談会のお知らせ …14

平成27年度決算を認定!

(単位：千円)

会計名	調定額 ①	収入済額 ②	支出済額 ③	差引額 ②-③	不納欠損額 ④	収入未済額 ①-②-④	
一般会計	11,661,290	11,459,661	11,174,739	284,921	23,663	177,965	
特別会計	国民健康保険事業勘定	2,882,920	2,798,099	2,741,794	56,305	10,782	74,038
	後期高齢者医療	170,298	168,836	168,355	481	477	984
	簡易水道事業	265,754	250,424	216,363	34,061	0	15,329
	公共下水道事業	686,281	635,108	620,472	14,635	51	51,122
	農業集落排水事業	167,664	163,772	161,269	2,502	1	3,890
	介護保険事業勘定	2,752,964	2,744,323	2,677,484	66,838	2,680	5,961
	介護サービス事業勘定	29,944	29,944	27,072	2,871	0	0
	衛生処理事業	28,990	28,990	23,658	5,331	0	0
	温泉事業	42,692	23,792	21,171	2,621	0	18,899
	国民健康保険診療施設勘定	0	0	0	0	0	0
	特別会計計	7,027,511	6,843,291	6,657,642	185,649	13,992	170,226
合計	18,688,801	18,302,953	17,832,382	470,571	37,655	348,192	

水道事業	収益的収支	-	159,210	147,740	11,470	-	-
	資本的収支	-	35,978	79,388	△ 43,410	-	-

※金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によるものである。

9月定例会を9月13日から23日までの11日間の会期で開きました。
平成27年度三種町各会計歳入歳出決算を各常任委員会に付託し、9月15日及び16日の2日間にわたり審査しました。

総務常任委員会

● 一般会計（総務課、選挙管理委員会、企画政策課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員事務局、総合支所で総務常任委員会の所管するもの及び他の常任委員会の所管に属さないもの）

教育民生常任委員会

- 一般会計（町民生活課、福祉課、健康推進課、教育委員会、総合支所で教育民生常任委員会の所管するもの）
- 国民健康保険事業勘定特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 介護保険事業勘定特別会計
- 介護サービス事業勘定特別会計
- 介護サービス事業勘定特別会計
- 衛生処理事業特別会計
- 国民健康保険診療施設勘定特別会計

産業建設常任委員会

- 一般会計（農林課、商工観光交流課、建設課、上下水道課、農業委員会、総合支所で産業建設常任委員会の所管するもの）
- 簡易水道事業特別会計
- 公共下水道事業特別会計
- 農業集落排水事業特別会計
- 温泉事業特別会計
- 水道事業会計

総務常任委員会

決算の審査 賛成多数により原案のとおり認定



問 合併算定替により普通地方交付税の額がかなり減って行くと思われるが、その推移とこれに変わるものはないのか。

答 平成29年度は2億円、平成33年度には7億円ほどの減額になると推定される。その減り幅は平成28年度10%、平成29年度30%、平成30年度50%、平成31年度70%、平成32年度90%となる。合併した市町村に対し、支所経費分は上乘せされている。その時々々の政策は多少影響するかもしれないが、これ自体合併時の約束事なので変わらないと思われる。

問 財産貸付料の内訳は。

答 琴丘地域の給食センター、ドラゴンフレッシュ

センター、鵜川・浜田の駐在所の土地貸付料等である。

問 自衛隊射撃場施設の利用状況や苦情はないか。

答 月間予定表が送付される。一時期騒音などの苦情もあったが現在はない。

問 宝くじ市町村交付金の額と、使途については定められているか。

答 サマージャンボは3年間固定額で、オートムジャンボは売り上げに応じて交付される。使途は社会的なもの、

福祉等の分野に定められている。赤ちゃん誕生祝い金、地域雇用創出事業などに充てている。

問

答 建物共済金の支払内訳は。

問 サンバリオの落雷による被害が一番大きかった。

答 旧上小校舎活用協議会の活動費と管理費の詳細は。

問 活動費は図書の購入やスポーツ大会、子どもを集める催しなどに使われている。管理費は光熱水費分である。

問 森岳駅管理業務委託料とあるが、何人分で勤務時

間はどれくらいか。また、備品購入費のエアコンとは。

答 朝6時から夜6時まで基本的に一日交替で2人勤務している。エアコンは

事務室のもので、これまで備え付けられていたものが故障したため更新したものである。

問 生活バス路線利用状況と、交通弱者に対する配慮などあるか。

答 八竜地域五明光線を除き、乗車率については良いとは言えない。交通弱者への対応については、時代の流れからデマンド方式を考えるべきと思われるが、路線バスがあるところはなかなか難しい。

問 元気づくり支援事業の追跡調査など、内容を精査しているか。

答 今年で5年目となる事業であるが、毎年同じ内容は認められない。すべての団体の申請、実績など公開している。



琴丘地域の町民バス

教育民生常任委員会

決算の審査 原案のとおり認定



問 三種川監視カメラ施設保守管理業務の委託先は。また、保守管理の内容は。

答 委託先は秋田ケーブルテレビで、随意契約をしている。保守管理の内容は、点検、清掃、移設及び修繕である。なお、平成28年度は、保守管理の内容を見直し、かつ長期契約とする。とで、委託料の削減を図っている。

問 清華苑の土地借上料36万円
の支出先は。

答 平成4年の清華苑建設時から隣接するお寺に支出している。

問 空き家解体費の対象となった8件の地域は。

答 山本地域6件、八竜地域2件である。

問 本町における空き家の件数は。

答 三種消防署の調べ（平成28年3月31日現在）によると、592件（琴丘地域178件、山本地域261件、八竜地域153件）であり、うち118件が不良家屋とされている。

問 釜谷地区避難所管理業務は、自治会に委託しているのか。

答 その通りである。

問 補助金を支出している三種町シルバー人材センターの雇用人数は。

答 70〜80人くらいである。

問 ケアプラン作成に対する費用負担は。

答 1人当たり4300円（新規は7300円）で、プラン作成件数は2071件である。

問 健康診査業務委託料に係る早期検診受診者の男女比は。

答 男性4に対し女性6の割合である。



三種川を監視中

問 雑入の前年度療養給付費精算金とは。

答 秋田県後期高齢者医療広域連合において平成26年度療養給付費負担金の精算が行われ、その精算金が平成27年度に納入されたものである。

問 後期高齢者医療制度加入者数は。また、国民健康保険加入者数は。

答 平成27年度末の後期高齢者医療制度加入者は

3906名、国民健康保険加入者は4679名である。

問 給食材料費について、地元のものを使用しているか。外国産は使用しているか。

答 野菜については定期的に品薄の場合は県外産も使用しているが、基本的には県内産のものを使用しており、外国産は使用していない。肉についても同様であるが、魚については一部外国産も使用している。

産業建設常任委員会

決算の審査 原案のとおり認定



問 大口滞納繰越分の破産手続状況は。

答 平成28年1月18日破産手続廃止の公告がされている。理由は、破産財団をもつて破産手続の費用を支弁するのに不足する、というものであった。また、国税庁ホームページの法人番号情報に当該会社が登記を閉鎖したという情報があり、これをもって法人が消滅したと思っている。確認のうえ、法人の未納分については議会にかけて債権放棄手続を行う必要があると考えている。破産財団が手続を廃止し財団がなくなったので、所有が誰なのか調査の必要がある。

問 水産振興費の八竜地区漁業組合漁業振興費58万1000円の内容は。

答 漁協に対する運営費補助であり、合併前から補助している。

問 漁業振興基金が700万円ありながら、補助するというのはどういうことなのか。

答 700万円の基金については、漁協が必要にせまった時に交付してもらおうということでも話し合いがなされている。700万円を切り崩して運営費にあてるというものではない。

問 町営住宅修繕料は、毎年1000万円前後かかるのか。

答 年数経過によるもので、毎年同程度かかっている。クロスの張り替え、電気温水器、ベランダ・バルコニーの修繕などである。

問 スーパープレミアム商品の使われ方は。

答 商工会でアンケートをとりまとめた結果では、発行総額2億8200万円で、2億8153万円が換金され、そのうち約8700万円が普段の買物以外に使われたと想定されている。さらに商品券のほかに現金を追加して購入したのが1億1500万円

円位と推計している。合わせると3億9600万円位が商品券と現金合わせて町内から購入した金額になっている。

問 農業者年金に新規に加入した人数、受給者数、加入条件、受給要件、掛け金は。

答 平成27年度実績で新規加入者は1名、受給者総数は482名となっている。加入条件は国民年金第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の方は誰でも加入できる。受給要件は、65歳からで保険料の金額及び年数で計算され生涯受給できる。掛け金は、月額2万円から6万7000円までの間で決まっている。



じゅんさいの摘み採り

問 JGAPじゅんさい農家は増えているのか。

答 若干減少しており、現在は27農家で取り組んでいる。

農業基盤整備促進事業 採択ならず

平成28年 9月定例会補正予算の内容

会 計 名	補正前の予算総額	補 正 額	補正後の予算総額
一 般 会 計	110億 597万1千円	△ 7,647万8千円	109億2,949万3千円
特 別 会 計	64億7,026万8千円	7,989万4千円	65億5,016万2千円
水道事業会計	5億5,322万7千円	730万3千円	5億6,053万 円

【主な歳出】

事 業 内 容	事 業 費	財 源	
		特 定	一 般
秋田県町村電算システム共同事業組合負担金ほか	475万3千円	138万3千円	337万 円
定住奨励金	170万 円		170万 円
福祉バス借上料	233万3千円		233万3千円
未熟児養育医療給付費	135万1千円	106万5千円	28万6千円
農業基盤整備促進事業	△1億6,473万5千円	△1億6,473万5千円	
グリーンびあ空調設備改修設計、改修工事	818万8千円		818万8千円
じゅんさいの館空調設備改修設計、改修工事	1,880万9千円		1,880万9千円
台湾交流事業	163万1千円		163万1千円
サンバリオ施設改修工事	200万 円		200万 円
住宅リフォーム助成事業補助金	1,000万 円		1,000万 円
除雪システム導入保守業務	368万8千円		368万8千円
社会資本整備総合交付金事業	△ 6,010万 円	△ 6,561万8千円	551万8千円
町営住宅解体工事	△ 200万 円	△ 129万4千円	△ 70万6千円
町営住宅建設工事	△ 5,115万8千円	△ 4,805万6千円	△ 310万2千円
小学校修繕（金岡小ポンプ交換、浜口小プールサイド修繕、湖北小受水槽等）	196万 円		196万 円
中学校修繕（山本中消火栓設備修繕、八竜中掲揚塔）	360万3千円		360万3千円
清吉根小屋沢ため池復旧工事	1,050万 円		1,050万 円

議案審議

平成28年度一般会計予算の補正

へじゅんさいの館・グリーンぴあ空調設備改修設計、改修工事

問 じゅんさいの館の室外機から煙が出て修繕したとのことだが、その内容は。

答 6月1日に故障し、60万円で修繕した。

問 修繕済みなのに、また1800万円余りの予算で改修工事を行うのか。

答 修繕したものの、室外機の老朽化が著しいので撤去し、新たに業務用エアコン14台を更新してキユービクルを設置する。

問 グリーンぴあ改修工事の詳細は。

答 業務用のエアコン5台と室外機1台である。



改修が予定されている空調設備

問 施設の大きさに5台は多いのではないか。

答 業務用のエアコンではあるが、設置場所に合わせてサイズを選定しているため、5台すべてが同じものというわけではない。

〈自殺対策事業〉

問 県と三種町の自殺死亡者数は。

答 平成27年では県266人、三種町4人であり、平成28年6月末現在では県120人、三種町2人である。



解体される旧琴丘公民館

問 事業内容の詳細は。

答 債務やこころの関係の相談活動、標語等の啓発活動、交流サロン事業、悩みを抱える人を専門家に繋ぐ人材の養成事業、インターネットを使ったメンタルヘルスチェックの導入等である。

工事請負契約の締結

〈旧琴丘公民館アスベスト除去・解体工事〉

問 契約業者は、アスベスト除去・解体工事の実績はあるのか。

答 実績はある。

発議	契約	平成28年度予算の補正											平成27年度決算の認定							報告	区分	審議された議案一覧								
		議員派遣(町民と議会との懇談会)	議員派遣(全国町村議会広報研修会)	去・解体工事	水道事業会計	温泉事業特別会計	衛生処理事業特別会計	介護サービス事業勘定特別会計	介護保険事業勘定特別会計	農業集落排水事業特別会計	公共下水道事業特別会計	後期高齢者医療特別会計	国民健康保険事業勘定特別会計	一般会計	水道事業会計	国民健康保険診療施設勘定特別会計	温泉事業特別会計	衛生処理事業特別会計	介護サービス事業勘定特別会計				介護保険事業勘定特別会計	農業集落排水事業特別会計	公共下水道事業特別会計	簡易水道事業特別会計	後期高齢者医療特別会計	国民健康保険事業勘定特別会計	一般会計	財政の健全化判断比率及び資金不足比率
16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	14	14	—	—	賛成	採決状況
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	—	—	反対		
可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	報告	報告	結果	

※議長は採決に加わりません。
※1人欠席のため、全議案の採決総数は16人になっていません。

ふるさと会に若者の組織を作っては

企画政策課長 検討する



成田 光一 議員

成田 東京みたね会、北海道みたね会の活動状況は。

町長 東京みたね会は平成21年に、旧八竜会と旧山本会が合併して設立し、スタートした。平成23年度からは琴丘会が正式に合流し、今年度で8年目を迎える。昨年は11月8日に総会・懇親会を開催している。参加者は約300名である。他に房住山山開き登山、サンドクラフト参加や秋田県人会・近隣ふるさと会への参加、そして首都圏で三種町特産品販売の際の支援活動、さらに橋本五郎文庫への支援などを行っている。

一方、北海道みたね会は、八竜会と琴丘会が合併して平成26年に設立している。昨年は11月22日に総会と懇親会を開催し、参加者は約



8年目を迎える東京みたね会

40名である。町としては、両みたね会に対し会員の拡大と活発な活動を願うとともに、ふるさと納税やPR大使、三種町特産品の購買等について目に見える形での協力をお願いしている。

成田 会員も年々高齢化し、また若い会員は入って来ないようなので、若者が独自の発想で活動ができるよう若い人を対象とした別のグループを新たに作ってはどうか。

企画政策課長 提案として受け、十分に検討して対応する。

台湾交流の今後の方向性は

町長 友好交流覚書を交わし交流を進める

成田 台湾交流について、これまでどのような事業が行われて来たのか。その成果はどうだったのか。

か。そしてこれらを踏まえて今後の方向性をどのように考えているのか。

町長 様々な交流を進めている。初めに平成27年2月に台湾交流調査を行い、新北市政府（市役所）等を訪問、そこで砂の彫刻イベントを再開するという南投県の情報を得て、同年8月に南投县政府文化局を表敬訪問した。その後何度か相互交流を実施、9月29日に南投县政府文化局局长一行が来町して、友好交流覚書調印式を行う。同県は台湾の中央に位置しており、芸術文化・観光・農業の盛んな魅力的な県である。先方も三種町の文化に興味を示しているので様々な交流が進むように努める。

成田 将来を担う子供達の交流をやってはどうか。

町長 若いうちから国際感を大事であり、ぜひ前向きに検討する。

国民文化祭での報酬支払いの事実関係は

コーディネーター 教育長 調整役謝礼金等を指導料として支払った



大澤 和雄 議員

大澤 新聞報道によれば、平成26年度に三種町で開催された国民文化祭パッチワークキルト展のコーディネーターを務めた方に、山本公民館での指導講師謝金を支払ったとあるが、本人は指導を行ったこととはないとしている。

また、返還された報酬を入金処理せず、備品取付費用に充てたとあるが事実関係はどうなのか。

さらに、旅費（東京分）と通知書に記されているが、本人は東京への出張命令は受けていないと報道されているが、事実関係はどうなのか。

教育長 平成24年度会計で1万50000円、平成25年度で3万50000円をパッチワーク指導料として支払っている。これは、

大澤 平成30年以降、国による生産数量目標の配分が廃止されることから、農業者や集荷業者が自

米政策改革への対応は 町長 情報開示と周知に努める

キルト展を総括し実施計画などの助言や指導をしていただいたことへの謝礼であるが、事務処理上の支出の根拠づけとして使役調書を山本公民館でのパッチワーク指導講師謝金として作成し支出した。

また、旅費相当分の支払いは、平成25年11月14日から横浜で開催されたキルト展での審査員依頼やボーグ社雑誌に掲載のための訪問等旅費3万50000円を、指導料として別途支出した。

なお、公金に係る適切でない事務処理については、三種町に対する信頼を損なうものと極めて重く受け止めている。

町長 秋田県では、需要に応じた米生産に関する専門部会を立ち上げ、配分方法等の協議に入っている。町段階では、県からの

らの経営判断や販売戦略に基づき、需要を見極めた上で、次年度の生産量を定めることとなっている。農家は今後の米価の推移や各種助成制度がどうなっていくのか懸念している。

町の今後の取り組みや、国・県の助成制度等の農家への情報提供など、町の対応は。



見直される米の生産調整

「生産の目安」を基に生産者への目安を提示し、需要に応じた米生産を推進することで米価の安定を確保することとする。

また、経営安定所得対策の助成制度が平成30年以降どうなるかは、現在不透明であるが、県とともに国に継続されるよう要望していく。

町の農業再生協議会は平成30年以降も存続していくので、集落説明会を開催するなど、今後とも農家への情報の開示と周知に努めていきたい。

クアオルト事業の進捗状況は

町長 順調だが長期的取り組みが必要



堺谷 直樹 議員

堺谷 「みたね型クアオルト」が始動して1年余りであるが、次の5点について伺う。

- ① データの集積と管理
- ② 健康食の開発と提供
- ③ 各コースの整備状況
- ④ 町民が参加しやすい環境作り
- ⑤ 保険料引き下げへの手応え

町長 ①クアオルトモニタリングを25回実施した。集積データは個人情報であり、適切に管理する。

②健康食は、平成28年度からの取り組みである。

③町内5コースのうち、琴丘クアの古道コースと森岳温泉石倉山コースは、日本クアオルト機構の認定コースとなった。

④参加者にポイントを付与し、温泉入浴券と交換できる特典制度を設けている。

⑤現在、国民健康保険と介護保険を合わせて54億円、町の予算の3分の1弱に該当。特効薬ではないにしろ、クアオルト事業が重要であると考えますが、短期間で成果を出すのは困難だ。継続的な運動で将来的に医療費抑制につながると考える。

堺谷 石倉山コースは、松くい虫処理木が斜面のいたるところに山積され危険な状態、壊れたベンチ、朽ちた橋、ロープが張られ立入禁止のトイレ等、非常に景観が良くない。早急に改善すべきと思うが。

企画政策課長 松くい虫処に危険と認識しているの、農林課、山本総合支所、企画政策課で協議し対応する。壊れたベンチは撤去し、朽ちた橋は9月補正で撤去と迂回路整備の経費を計上している。頂上に閉鎖されているトイレがあるが、



琴丘クアの古道を歩こう

行って使えなかったとの苦情も把握しているので、撤去の方向で対応したい。

堺谷 ポイントで交換できる無料入浴券の中には入湯税も含まれていると思うが、その取り扱いについて尋ねる。

企画政策課長 クアオルト推進室の予算の範囲で、各温泉施設からの請求に対応しており、通常の入館料と同額であるため、入湯税も含まれている。

堺谷 入湯税は本来無料にすべきものではない

と考える。予算の中から支払うのであれば、サービスした入湯税を町民の税金で補てんしているのと同じ。早急に改善すべきではないのか。

企画政策課長 ポイント制での交換であるため、年度内での対応は難しい。新年度で検討する。

ほかに「選挙投票率に対する対策は」を質問しました。

CCS(二酸化炭素回収・貯留)誘致を

町長 年度内に協議会を設立する



伊藤 千作 議員

伊藤

CCSとは、二酸化炭素を大量に排出する施設からCO₂を分離・回収し、それを地中に圧入して長時間にわたり貯留することにより、大気中へのCO₂放出を抑制する技術である。CCSは、省エネルギー、再生可能エネルギーなどとともに地球温暖化対策事業に貢献する。

平成24年度からは、北海道苫小牧で日本初の本格的なCCS実証プロジェクトが始まった。

三種町で誘致が実現すると、年間どれくらいCO₂を圧入することができるのか。また投資規模はどのくらいになるのか。

現在、八竜地域で貯留適正調査をやっているが、今後どのような推移し、何年後に結果がでるのか。今後、誘致実現に向けて、

町長 三種町で誘致が実現する計画か。

町長 三種町で誘致が実現すると、どのような規模になるかは、想定情報でしか答えられないが、貯留規模は、苫小牧市よりはるかに大きく、貯留量は推定で1億トン以上、年間1000万トンを約100年間貯留できる見込み。工場面積は、4ヘクタール以上となり、50名以上の職員が勤務することになると思われる。

現在、三次元弾性波調査



CCS調査現場を見学しました

を実施しているが、結果がでるのは今年度末になると聞いている。その結果が良好で、かつ国等の承認があれば、平成31年度から平成32年度に調査井の掘削が始まり、全国で5地点程度に絞られる。その後、平成33年度に貯留適地として全国から3地点程度が選定される見込みである。

国への誘致実現に向けての取り組みは、苫小牧CCS促進協議会を参考に、年度内に町内各種団体による協議会を設立する。早期誘

致に向けた町民の皆様や地元企業など地域一体となった誘致機運の醸成を図り、早期誘致に向けた要望活動を実施し、CCSに関する継続的な一般町民への広報・周知活動などの事業を進めていく。

福祉用具の支援を

福祉課長 町として応援していく

伊藤 政府は要介護2以下の福祉用具レンタルの原則自己負担化を検討している。町として対策を考えるべきだ。

福祉課長

平成27年度末現在、の要支援1と2の人数は313人で、このうち48人が車椅子などを使用している。町としてもいろいろ応援していきたい。

ほかに

「後期高齢者医療制度等について」を質問しました。

第3回

臨時会

工事請負契約4議案

原案
可決

日時：平成28年9月7日(水)

●三種町防災行政無線(同報系)施設整備工事

- ・契約金額 5億2,893万1,728円
- ・契約の相手方 パナソニックシステムネットワークス株式会社システムソリューションズジャパンカンパニー東北社

●スカルパ野球場改修工事(土木工事)

- ・契約金額 1億1,880万円
- ・契約の相手方 石井・嶋工特定建設工事共同企業体

●スカルパ野球場改修工事(建築工事)

- ・契約金額 1億1,631万6,000円
- ・契約の相手方 成田建設株式会社本店

●スカルパ野球場改修工事(電気設備工事)

- ・契約金額 1億5,033万6,000円
- ・契約の相手方 工藤・石井特定建設工事共同企業体

秋田県町村議会広報研修会

8月1日、秋田市ルポールみずほで秋田県町村議会広報研修会が開催され、三種町議会から新たに議会広報編集特別委員となった6人が参加した。

研修会では、議会広報サポーターの芳野政明氏が「議会報の基本と編集技術」について講演し、いかに住民に読まれ議会活動が伝わる広報づくりをするか、そのための編集技術を説明された。

その後、県内町村で発行された議会報のクリニックが行われ、三種町議会発行の広報もクリニックを受けた。住民に関心のある見出しをとの指摘もあり、有意義な研修となった。

記 大澤 和雄



秋田県町村議会議員研修会

8月1日、秋田県市町村会館で秋田県町村議会議員研修会が開催された。

NPO法人えがおつなげて代表理事の曾根原久司氏が「農山村資源を活かした地域活性化」と題して、山梨県須玉町での耕作放棄地の再生や農山村と都市との交流など実践例を紹介しながら講演された。

次に東京大学教授の鈴木宣弘氏が「TPP交渉の最新動向と今後の展望」と題して講演。日本と米国のTPP交渉への姿勢、日本農業、本県農業への影響、さらには、食糧・食料品の安全性の問題など詳細に分析した数値を基に、交渉の動向と展望について語った。

記 大澤 和雄



子ども議会をおえてひとこと

子ども議員が町政を質す！



カルキ臭を中心にした飲み水の安全確保のための施策について
浜口小学校6年 菅原 紅那
西村 優愛

議会に参加して、町がどのよう
に取り組んでいるかがわかってよ
かったです。(菅原 紅那)

住みやすい町づくりの計画につ
いて
湖北小学校5年 大坂 拓真
西村 華

議員さんや役場の人がたくさん
いて緊張したけど、貴重な体
験ができてよかったです。
(西村 華)

三種町の消防団の現状と対策に
ついて
琴丘小学校6年 平塚 和馬
渡邊 茉央

少し緊張したけど、消防団の
ことについて、しっかり質問で
きたからよかったです。
(渡邊 茉央)

三種川の洪水から、下岩川地区
(特に長面・達子・増沢)の被
害を減らすために、水害防止対
策の進み具合とこの後の計画を
示してほしい
下岩川小学校6年 赤川 琉綺
近藤 陸

たくさんの方の前で質問した
のはいい経験になったし、町に関
心を持ってました。(近藤 陸)

生活習慣病予防の対策について
森岳小学校6年 三浦 大心
鶴木 咲雪

将来にとっても役立つと思いま
した。
(鶴木 咲雪)

三種町の税金の使い途の決め方
金岡小学校6年 高松 知希
小松 愛梨

たくさんの方の前で発表した
ら緊張したけれども、いい勉強
になりました。(小松 愛梨)

農地の有効活用について
琴丘中学校3年 飯塚 和馬
近藤向日葵

特産物だけでなく、指定した
農作物の生産に力を入れている
ということに驚きました。
(飯塚 和馬)

じゅんさいのPR活動について
山本中学校3年 山田 雅也
大高 法子

議会に参加する前にいろいろ
調べて町に関して少し関心が持
てました。(大高 法子)

高齢者福祉について
八竜中学校2年 田中 駿
嶋田 夢望

私は、普段は町政について深
く考えたりすることはあまりあ
りませんが、今回子ども議会に
参加したことで、興味を持つこ
とができました。(嶋田 夢望)

議長
八竜中学校3年 伊藤 乃聖
三浦 結奈

町での取り組みや、考えが
しっかり分かり、今まで以上に
自分の住む町について考える
きっかけとなりました。
(三浦 結奈)



第3回

「町民と議会との懇談会」

を開催します！

● テーマ 三種町の人口減少対策について

私たちと一緒に三種町の未来を考えましょう！

テーマのほか、議会や町政に対する意見や提案もお聞かせください。

● 日 程

日 時	地 域	会 場	担当班
11月15日(火) 午後6時～午後8時	琴丘地域	上岩川生活改善センター	2 班
	山本地域	すいらんの館	3 班
	八竜地域	せいぶ館	1 班
11月16日(水) 午後6時～午後8時	琴丘地域	鯉川コミュニティセンター	1 班
	山本地域	金陵の館	2 班
	八竜地域	浜口地区館	3 班
11月17日(木) 午後6時～午後8時	琴丘地域	琴丘地域拠点センター	3 班
	山本地域	山本公民館	1 班
	八竜地域	鶴川地区館	2 班

● 班 員

1 班 (総務常任委員)		2 班 (教育民生常任委員)		3 班 (産業建設常任委員)	
平賀 真	伊藤 千作	清水 欣也	後藤栄美子	工藤 秀明	高橋 満
宮田 幹保	石井 秀基	大澤 和雄	安藤 賢藏	小澤 高道	加藤彦次郎
成田 光一	金子 芳継	三浦 敦	鈴木 一幸	堺谷 直樹	児玉 信長

編集後記



委員会構成が変わり、新たに6人が議会広報編集委員となりました。

町村議会広報研修会で指摘された部分など考慮して編集にあたりましたが、まだまだ改善していく余地はたくさんあるように思います。何よりも町民の皆さんに読まれ、議会活動が伝わるような紙面づくりに心掛けていきたいと思っています。

議会広報作成にあたっては、編集委員や議会事務局の担当職員が一緒になって、本会議、委員会での質疑、答弁の会議録を何度も読み返し検証しながら作成していきます。議会が終わってから、もう一度議会を再現するような大変な作業でもありますが、町民の皆さんにより親しまれる広報づくりに委員全員で頑張っていきたいと思えます。

大澤 和雄 記